



ごみダイエット通信

名取市ごみ減量等推進協議会
2014年9月発行
No. 24

平成13年度から始まったごみ2分別・リサイクル16分別が今年で14年目になります。そこでもう一度分別の仕方をQ&A方式で再確認してみましょう。

Q1. 写真のフィルムの分別は、プラスチック製品類ですか？

A1. 写真のフィルムは焼却ごみです。

Q2. プリン、ヨーグルトのふたはプラスチック？金属？

A2. ふたの種類で違います。縦または横に簡単に裂けるのは「金属製品類」のコンテナへ、裂けないものは「プラスチック製品類」のコンテナへ入れて下さい。

Q3. プラスチック類は種類が多く、水洗いも拭き取りも面倒なのですが...

A3. プラスチック類（特に食品トレイ、ペットボトル）は再生率が高いので、できるだけ汚れを落として下さい（軽く水洗い、ぼろ布・新聞紙で拭き取る）。しかし、大量に水を使わないと汚れが落ちない場合などは焼却ごみに出して下さい。

Q4. 残ったり、古くなった花火はどう処分すればいいのですか？

またライター、チャッカマン、発煙筒などはどうすればいいのでしょうか？

A4. 発煙筒以外は全て「有害・危険ごみ」のコンテナに入れて下さい。発煙筒は「車の部品」扱いとなるので、車のディーラーに引き取ってもらって下さい。

Q5. 不用品でリサイクル作品を作りたいのですが、ごみ集積所からペットボトルや傘、牛乳パックなどをもらっていいですか？

A5. 一度ごみ集積所に出された物は市の管理品になるので、勝手に持ち去ることはできません。

Q6. 月1回リサイクル「複合素材製品類」の出し方で、どのくらいの大きさの物なら出しているのでしょうか？

A6. コンテナにきちんと入る大きさならば出すことができます。ただし、コンテナの高さからはみ出してしまう大きさの物は出すことができません。そのような大きさの粗大ごみは、クリーンセンターに自己搬入するか、代行運搬の制度を利用して処分する必要があります。



新ごみ処理施設建設中！

岩沼市下野郷に現在新ごみ処理施設を建設中です。工事期間は平成25年9月1日から平成28年3月31日（試運転完了・竣工）までで、平成28年4月から稼働を開始する予定です。

新施設の特徴として、環境保全や安全性に優れた施設となっており、また、ごみの焼却で発生した熱エネルギーにより発電を行い、その電力で施設の使用電力をまかない、余剰分は電力会社へ売却します。

また、ごみの収集方法も一部変わる予定となっており、詳しいことが決まり次第、広報なとりなどで皆様にお知らせします。



(付近見取り図)



(完成予想図)

環境にやさしい買い物キャンペーン

10月は3R推進月間です。レジ袋をやめてマイバッグを活用する、再使用できる容器やつめかえ製品を選ぶなど環境にやさしい買い物をしましょう。



こまめに買い物袋を持ち歩きましょう。

～お知らせ～

2014ふるさと名取秋祭り

《日時》平成26年11月3日(月・祝)

午前9時～午後2時

《場所》名取市民体育館

名取市ごみ減量等推進協議会主催の

リサイクル品展示会も同時開催

ぜひ皆さん遊びに来てね。待ってま～す！



名取市マスコットキャラクター カンナクくん

リサイクル施設等の見学・研修会で学んできました

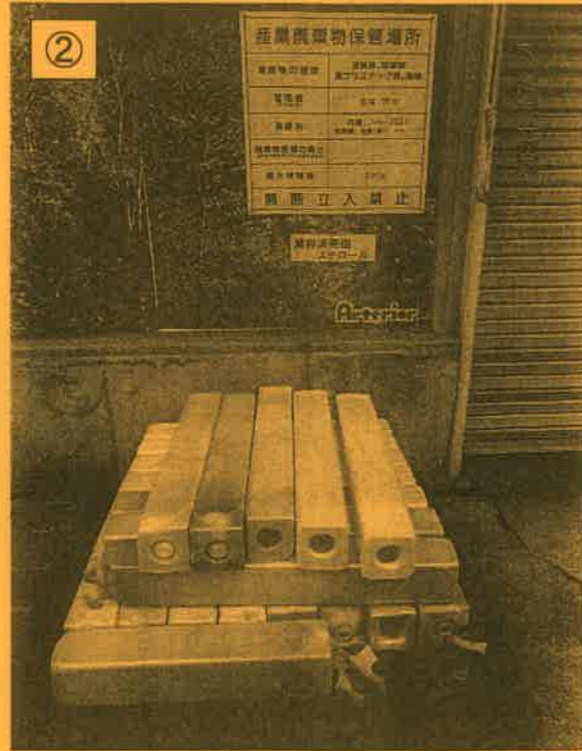
平成26年7月24日(木)に、名取市ごみ減量等推進協議会の委員たちで「(株)仙台ニコン」と「(株)ジェーエーシー蔵王資源リサイクル工場」さんの施設を見学してきました。改めて学ぶことが多く、よい機会を得たと思います。

1. (株)仙台ニコン

(株)仙台ニコンさんはごみの分別、リサイクルへの意識が大変高く、工場内もとてもきれいでした。分別して集めた金属類やプラスチック類は業者に買い取ってもらうため、できるだけ細かく分別し、整理整頓を心がけることは、自社の収益アップにもつながるとのことでした。また、自家発電や高性能の焼却炉の使用など、自社内でのエネルギーの消費、製造がバランスよくおこなわれていると感じました。



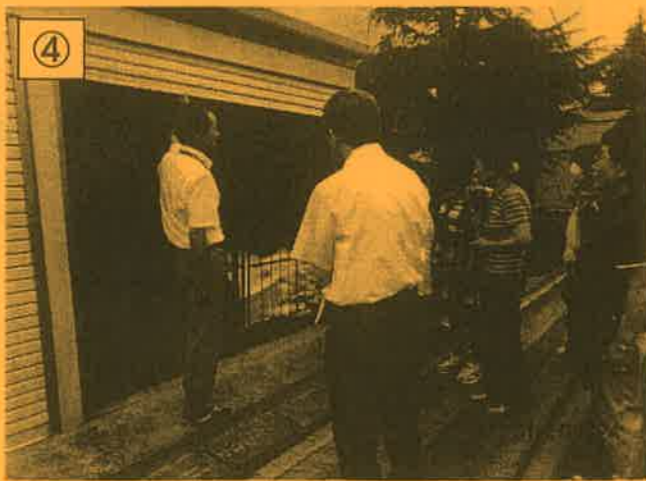
①出されたごみは倉庫に種類ごとに分別・整理されていました



②工場内で出た発泡スチロール廃材は自社内で専用の圧縮機を使い、棒状の固形インゴットに加工します。これも業者に買い取ってもらっています。



③カメラ製造の際に出た金属片を細かくして、専門の業者に買い取ってもらいます。ムダは出ません。



④ニコンさんの徹底した分別、リサイクルの方法にとっても感心しました。

2. (株)ジェーエーシー蔵王資源リサイクル工場

こちらのリサイクル工場は、地域のごみ集積所から集められたプラスチックごみを受け入れ、リサイクル加工している施設です。家庭から出たプラスチックごみが、もう一度プラスチックを作る原料であるペレットに生まれ変わります。私たちもきちんと分別してごみを出し、資源を循環させましょう。



⑤地域から出たプラごみです。大量ですね。このプラごみが生まれ変わります。



⑥プラごみが機械で粉碎されプラ原料や固形燃料になります。



⑦プラごみからキューブブロック(植生ブロック)も生産しており、将来的には一般家庭に対しても販売する予定。



⑧キューブブロックは、簡単に敷く事ができ、駐車場にも活用できる、とのことでした。

《編集後記》
昨今、リユースやリサイクルは私たちの暮らしにすっかり浸透していますね。ほんの数十年前までは「エコ」などと考えず、生活の知恵として当たり前で再利用できるものはしていたような…。これからも限りある資源を大切に使いましょう。
編集・発行：名取市ごみ減量等推進協議会
事務局：名取市生活経済部クリーン対策課
電話：384-2111(内線481・486)